

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和6年 2月 2日

事業所名：フェローIntech

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			片付け可能な簡易仕切り等、用意できると良いなと思います。 クールダウンが必要な児童はお友達と少し離れて時間を作る	17	3	0	2		もっと事業所を知っていただける機会を作り、保護者さまからの助言もいただけるようにしていきたい。
	2 職員の適切な配置	○			常勤職員がほとんどであり、適切だと思う。また、アルバイトスタッフにより、更に手厚い支援を行うことができている。	17	1	0	4		
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	○			子どもたちの導線を考えたうえでの配置を行っており、利用児によって、場所の配慮などしている。始まりの会などでもスライドを使って誰でもわかりやすい環境を作っている。	17	1	0	4		
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			収納が少ないため、もっと分かりやすく使いやすい収納があると良いと感じる。	18	2	0	2	子供から特に不満を言ってきたことはないです。 ずっと現地に行った事がないのでわかりません。	保護者さまに来たいだけ事業所を目指し、イベントへのお誘い、また、モニタリングを事業所の子どもたちの活動の場で行うなど、もっと知っていただけるような仕組みを作っていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画		○		PDCA作成しているが、アルバイトも含めた策定を今後行っていきたいと考えている。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○	現状実施できてないが、検討している。						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			みんなで一緒に行ける、参加できる研修を薦めているが、落とし込みが不十分である。また、福祉事業部勉強会やオンライン研修なども活用している。						
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			モニタリングの時間を十分確保し、本児の様子や保護者さんからのニーズを計画に盛り込んでいる。	21	1	0	0		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			子どもの支援に必要な事項をスタッフ間で話し合い、支援内容に盛り込んでいる。	20	1	0	1		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
提供	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○			子どもたちが将来働くことも意識した計画を作成しているため、個別活動と手段活動を組み合わせることができている。	/	/	/	/		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	4	○			保護者さんとの連携により、前日や当日の様子をお聞きできるため、かなりできていると思う。	20	1	0	1		
	5	○			子どもたちからの案も取り入れ、立案している。それぞれに担当を決めるが、担当職員が、頑張ってしまうこともある。アルバイトも含めチームでのプログラム作成を行いたい。						
	6	○			その日のお子さまの状況により、活動に変化を持たせている。音楽を聴いたり、イラストを描いたり、本人の安心できるプログラムを提供している	14	3	0	5	その時その時の子供の状態に合わせて目標を見直して取り組んでいただいていると感じます。	まだまだ、個々に合わせた支援ができていないこともあるなど感じています。今後、各々に合わせた支援のカリキュラムを作成できるように努めて参ります。
	7		○		休日には、パソコンの休憩時間をとったり、身体を動かせるような活動をいれている。大まかなスケジュールはあるが細やかとはいえないかもしれない						
	8		○		保護者さまからいただいた情報を元に、日々の支援内容を出勤職員で共有するための時間を多く作れるようにしていきたい。また、お休みの職員にも共有できる仕組みを作っていこうと思う。						
	9	○			職員同士で振り返り共有しているが、アルバイトスタッフとの情報共有を行えない時もある。みんなでの情報共有の仕組みを考えていきたい。日報での共有はある。						
	10	○			簡易なものがある。今後、もっと意識していきたいと感じる。						
	11	○			連絡のとれない方もいるが、早めの対応を行うことで、期日に間に合わせられるようにしている。また、先に子どもから話を聞き、それを保護者さまに伝え、対話するようことで、モニタリングの時間に共有することもある。						
関係機関	1	○			通常は、1番近い職員が伺う。ただ、問題の多い場合には、管理者が参加する。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
との連携	2		○		現在、対象児は利用されていない。ただ、医療ケア研修などには参加している。						
	3		○		現在、対象児は利用されていない。ただ、医療ケア研修などには参加している。						
関係機関との連携（続き）	4		○		相談支援専門員さんからの情報提供が多いが、子どもの支援に不安があるときなどは、相談支援専門員さんを通して、ケース会議等の開催をお願いしている。						
	5		○		相談支援専門員さんを通して行っている。						
	6	○			研修の案内があれば、できるだけ行けるようにしている。						
	7	○			まだまだ、放課後児童クラブや児童館との交流は行うことができていないが、地域の公園等の外出活動やイベントなどにより、その機会を作っている。	6	2	4	10		事業所内での活動が主となっていると感じられているのかもと思う。会社でのイベントなども多いので、保護者さまにも来ていただけるようにしっかりと声掛け等行っていきたい。
	8	○			事業所だけでなく、地域と繋がるイベントを行なっている。						
	1	○			個別支援計画書作成時にモニタリングに沿った支援内容であることを説明している。また、契約時には、利用者負担などについては細かく説明している。	19	1	1	1		契約時には、細かく説明を行うようにしている。報酬改定の機会には、今後、保護者さまへの説明を行っていきけるようにし、安心していただけるようにしていく。
保護者への説明責任	2	○			お会いできない場合は、メールや電話でお伝えしている。	20	0	2	0		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
連携支援	3		○		ペアレントトレーニングは、今は、行っていないが、今後行う予定である。ただ、ご提案やご協力はお願いしている。	6	5	4	7		今期から、保護者会の実施も行っていこうように計画している。その中で、保護者さまのニーズに寄り添い、勉強会など行う予定である。	
	4	○			連絡帳やメール、電話などで何度も繰り返し返している。また、保護者さまからのコメントが増えており、保護者さまより最近の状況を伝えてくださることも多くなっている。	20	2	0	0			
	5	○			年齢によるものだったり、今後、事業所でできる事などは、伝えている。	17	2	1	2		保護者さまの悩みもそれぞれであり、事業所でできることなどは対応させていただいている。また、悩みに対する真摯な対応はさせていただいていると思っている。もっと的確な対応と助言ができるよう、知識工場を目指したい。	
	6			○	2024年、保護者会発足予定である。	2	3	11	6		以前から、保護者さまとずっと話したい気持ちもあり、事業所内で話をしていた。今期、保護者会発足を決め、進めていくことになった。悩みを共有し解決できる時間を提供したい。	
	7	○			事業所内での簡易なトラブルについては、その日のうちに連絡をとり、対応する事で、減っている。従業員にも周知している。	14	0	0	8	特に苦情は発生していないため不明	苦情に対する対応体制に関しては、担当者が変更になった場合には、すぐにお知らせする等行っていこうと思っている。また、忘れものが多い、コミュニケーションのトラブルがあるなどの自由による苦情にならない取り組みを今後行っていく。	
	8	○			視覚支援、誘導などを行っている。わかりにくい場合は、時間をかけて丁寧に話をすることなどしている。	17	3	0	2	メールでのやり取りも多いですが、時々確認されていないかかったりスタッフ間で情報が共有されていないのかなと感じることがありました。	スタッフ間の共有不足でご迷惑をおかけしてしまうことがありました。担当した職員が責任をもって処理を終えるとともに、情報共有を忘れずに行っていきたく思います。	
	9	○			顔出しがNGの保護者さまへも伝わる様な対応を考え、もっと楽しんでいただけるものにしていきたい。	21	0	0	1	子どもの活動が見れるインスタや写真を定期的に見れるようにしてくれるともっと嬉しい。	個人情報のこともあり、全ての活動を見ていただくことが難しい場合もありますが、定期的にプリントした写真をお渡しするなど、お子さまの成長と一緒に感じていきたいなと思います。	
	10	○			年初、契約時にいただいた同意書により、運営している。	18	2	0	2	違う氏名のメールが来たことがある。	お名前を間違えてしまうといった失礼なことがありました。メールアドレスの宛名、ご芳名の間違いがないか、送信前に再度確認することを徹底していきます。	
	非常時等	1	○			マニュアル策定はある。緊急時対応は、避難訓練時に毎回連絡している。	16	3	1	2		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
母の 対応	2	○			必ず座学も入れ、自分たちの役割を伝えると共に、持ち帰り家族でも話し合っていたく様に伝えている。	18	1	1	2		
非常時等の 対応（続き）	3	○			虐待防止委員会主体で、部署からもマネージャーを選出し、職員全体で学んでいる。						
	4	○			個別支援計画書の共通部分に記載している。						
	5	○			アレルギーの酷いお子さんには、検査結果等いただいている。基本的には保護者から共有いただいている。						
	6	○			優先事項として取り組み、今後、軽微なものも共有していきたい。						